



# より豊かな農業へ～印旛沼の農業の歴史とこれから～

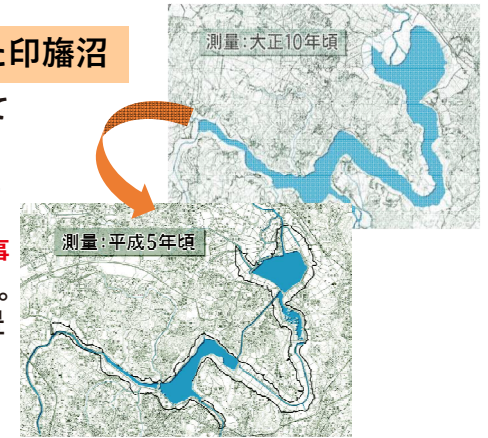
## 沼のまわりの人々の暮らし（昔）

印旛沼周辺では、弥生時代の後期には**谷津**（やつ：山あいに囲まれた平地）と呼ばれる地形で稲作が始まったと言われています。江戸時代からは食糧増産のために新田開発が行われましたが、沼周辺から入る洪水や利根川の洪水による水害に農民は苦しめられました。



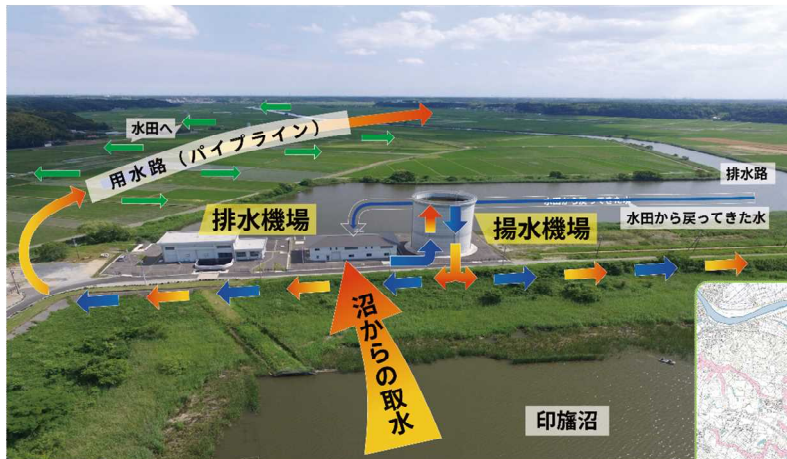
## 豊かな農業地帯に生まれ変わった印旛沼

昭和21年、印旛沼を大規模に干拓して農地を増やそうとする計画が作られ、昭和28年には**印旛沼土地改良区**が設立されてポンプや用水路を使った水利用が開始。昭和38年からは**印旛沼開発事業**による洪水への対策も行われました。多くの水田が作られ、印旛沼周辺は豊かな農業地帯になりました。

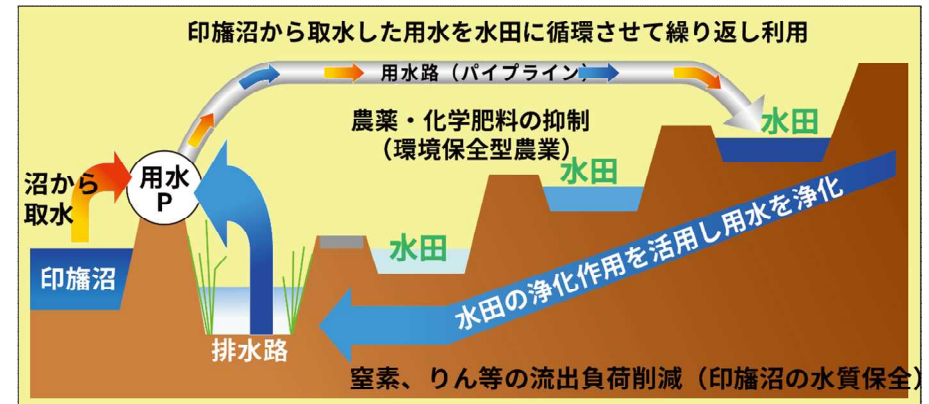


## 農業のさらなる進化へ！国営印旛沼二期農業水利事業

平成22年から農林水産省による**国営印旛沼二期農業水利事業**が始まりました。古くなった14機場を6機場にまとめて整備し、用水路（パイプライン）の更新整備を行うとしています。



平成29年4月より運用開始された宗吾北機場



↑印旛沼の水質をきれいに保つため、沼から取水した水をできるだけ再利用して沼への排水を減らす「循環かんがい」も導入しています。

他の豆知識も千葉用水HPに掲載しています！

水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構

Japan Water Agency みずしげんきこう

独立行政法人水資源機構  
千葉用水総合管理所

八千代市村上3139(大和田機場横)  
☎(047)483-0722

🔍 千葉用水 🔍 検索

